

News Release

Kanadevia
Technology for people and planet

カナデビア株式会社

2025 年 12 月 18 日

当社舞鶴工場で電子ボード新工場の建設工事を開始 ～ 電子制御事業拡大に向けた設備投資 ～

カナデビア株式会社は、半導体製造装置などに使用される電子ボードや、カーボンナノチューブ（CNT）を使用し東海道・山陽新幹線にも採用されている HiTaCa®フィルムヒーター※1 などの製造拠点集約や増産体制構築のため、当社舞鶴工場（京都府舞鶴市）への設備投資を決定しており、このほど新工場棟の建設工事を開始しましたので、お知らせします。



【新設する電子ボード工場の完成イメージ図】

当社は、1950 年代の陸上機械事業の拡大に伴い、電気・計装制御技術の重要性が高まる中、自社製品の高度化などを図るため、電子制御技術の開発の取り組みを開始し、1975 年には電子制御機器事業を開始しました。事業化以降、当社は舞鶴工場を電子制御機器関連の主要な生産拠点として、半導体製造装置や鉄道車両、食品工場など様々な分野に電子ボードや制御システム、映像記録装置などを納めてきました。

舞鶴工場では、電子ボードおよびユニット製品を「電子機器センター」で、各種制御装置を「制御機器センター」で研究開発および生産を行ってきましたが、近年の半導体市場の拡大を受け、電子機器センターを制御機器センターがある区画に移転・集約するのに合わせ、新たな「電子ボード工場」を建設し、生産能力を 2.9 万枚/年から 4.9 万枚/年に拡大します。

また、電子機器センターではリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを用いたバッテリーマネジメントユニットや、HiTaCa®フィルムヒーターなどの組立・装置化（ユニット化）も行っていまし

総投資額は約 8.5 億円であり、2026 年 8 月までに全ての工事を完了する予定です。

※1 当社が独自に開発した機能性新素材垂直配向性 CNT シート材「HiTaCa®」（ヒタカ®）を発熱体とした面状ヒーターで、東海道・山陽新幹線の台車部への着雪を防止するヒーターとして採用実績があります。

1. 投資額：約8.5億円
2. 導入場所：カナデビア舞鶴工場
3. 施設規模：電子ボード工場 1,122.25 m²(延べ床面積)
 ユニット工場 第1実験棟 576.69 m²(延べ床面積)
 第2実験棟 569.15 m²(延べ床面積)
4. 稼働予定：電子ボード工場 2026年9月
 ユニット工場 2026年4月

(終)